

JSPS Information

- ◇日本惑星科学会第58回総会議事録
- ◇日本惑星科学会第154回運営委員会議事録
- ◇日本惑星科学会賛助会員名簿

◇日本惑星科学会第58回総会議事録

日時:2022年9月21日(水) 16:30-17:30

場所:ザ・ヒロサワシティ会館 本館1階 小ホール
(〒310-0851 茨城県水戸市千波町東久保 697番地)
+オンライン(Zoom Meeting)

正会員数:619名

定足数:62名

参加人数:144名(現地:103名, オンライン:41名)

委任状:75通(議長:71通, 中村 昭子会員:2通, 佐々木 晶会員:1通, 保井 みなみ会員:1通)

1. 開会宣言

保井総務専門委員長が開会を宣言した。

2. 議長団選出

運営委員会からの推薦で議長に菊地 紘会員, 書記に西谷 隆介会員が選出された。

3. 議事

3.1. 審議事項

- ・第17期上期一般会計・特別会計予算案報告(佐伯財務専門委員長)
- ・2022年度予算執行状況について説明がなされた。本年3月まででイーサイドへの事務委託契約が終了し、現在は木田氏へ事務委託が行われているとの報告がなされた。2023年度も引き続き木田氏への事務委託を継続するとの報告がなされた。
- ・自然災害に伴う会費免除措置について説明がなされた。

・その他

・会則変更の提案(保井総務専門委員長)

昨年実施された購読会員に関する会則変更が不十分であったため、不足部分を補う会則変更の提案がなされた。具体的には、購読会員の権利及び入会方法(第2章第7条及び第8条)についての変更が提案された。

・質疑応答及び討論

・一般講演会の会計を学会から出すのは良いのか質問がなされ、佐伯財務専門委員から支出額に関しては問題ない、枠組みについては今後検討するとの回答がなされた。

・木田氏への事務委託を今後どうするかについて質問がなされ、中本事務局体制検討作業部会部会長から検討しなければならないとの回答がなされた。

・採択

審議事項の採決が行われ、賛成: 218(うち出席者143)、反対: 0、保留:0により採択された。

3.2. 報告事項

・2022年度秋季講演会開催報告(百瀬2022年秋季講演会組織委員長)

・2022年度秋季講演会の実施状況について報告がなされた。

・総会開催時点で参加者が264名、来場者が170名、発表が195件であったと報告がなされた。

・初のハイブリッド開催であったことについて報告がなされた。

・ハイブリッド開催を中継方式でつつがなく進行できたのは会場設備、サポートスタッフが整っていたためであったと報告がなされた。

・2023年度秋季講演会開催案内(藪田2023年秋季講演会組織委員長)

・2022年度秋季講演会の開催計画について報告がなされた。

・開催期間は2023年10月11日(水)-13日(金)であり、広島市内で対面開催を予定していると報告がなされた。

・2023年10月14日(土)には、東広島芸術文化ホールくららにて、一般講演会が開催される予定であると報告がなされた。

・第17期役員選挙について(保井選挙管理委員長)

2022年12月の任期終了に伴い、新役員選挙が行われると報告がなされた。

・その他

・最優秀研究者賞の受賞資格変更について(中村会長)

受賞資格が「当該年度4月1日において、博士号取得から8年以内の者(ただし、博士号取得後に研究を中断していた場合は考慮される)」に変更されたと報告がなされた。

・来る10年の月惑星探査検討会について中間報告(竝木惑星探査専門委員)

今後中型提案の探査内容を特に強化していく予定であるとの報告がなされた。

・日本学術会議「学術の中長期研究戦略」の公募について(竝木会員)

学会からの提案はマスタープランと大きく変わらない予定であり、現在、学会内で申請されている提案で調整し

ていく予定であることが報告された。

・質疑応答及び討論

- ・大型小型提案の区分について質問がなされ、竝木会員から説明がなされた。
- ・来る10年の個別の提案に対し、推すべきなのか、推すのであればどうサポートするのかをもっと議論すべきだとの意見があった。それを受け、惑星科学会として大きなビジョンを議論する場を設けるべきだとの提案もなされた。

3.3. 学会賞授賞式

・2021年度最優秀研究者賞(中村会長)

兵頭龍樹会員、巽瑛理会員に対して、表彰状及び副賞が贈呈された。

・2022年度最優秀発表賞・優秀発表賞(寺田学会賞選考委員長)

- ・最優秀発表賞に準じる賞として、優秀発表賞が新設されたことが報告された。
- ・優秀発表賞は若干名が受賞し、賞状が授与されるものであると説明があった。
- ・2022年度最優秀発表賞・優秀発表賞の選考経過が報告された。本年度は13名の応募があり、10名が本審査に進んだとの報告がなされた。
- ・最優秀発表賞を桑原歩会員が、優秀発表賞を于賢洋会員・庄崎弘基会員が受賞したと発表された。

4. 議長団解任

5. 閉会宣言

保井総務専門委員長が閉会を宣言。

以上

◇日本惑星科学会第154回運営委員会議事録

日時:2022年9月20日(火)18:30-20:30

場所:ハイブリッド開催(ザ・ヒロサワ・シティ会館+Zoom Meeting)

運営委員:

出席者20名

中村 昭子, 竝木 則行, 中本 泰史, 玄田 英典, 関根 康人, 奥住 聡, 寺田 直樹, 田中 秀和, 小林 浩, 関 華奈子, 千秋 博紀, 大竹 真紀子, 佐伯 和人, 藪田 ひかる, 保井 みなみ, 荒川 政彦, 白井 寛裕, 倉本 圭, 田近 英一, 中島 健介, 中村 智樹, 三浦 均, 百瀬 宗武

欠席者0名

オブザーバー:

北里 宏平(総務専門委員)

藤谷 渉(総務専門委員)

議題・報告事項:

1. 2022年秋季講演会報告(百瀬 2022年秋季講演会組織委員長)

- ・参加者数は264名。現地参加者が多数。
- ・会計はほぼ収支ゼロとなった。
- ・Square(クレジット決済サービス)で領収書が発行されず、LOCから該当希望者に領収書を発行することとした。
- ・Squareを利用したのはイベントペイのクレジット決済が情報流出により停止されたため。

2. 2023年秋季講演会実施案(藪田 2023年秋季講演会組織委員長)

- ・日程は2023年10月11日(水)から13日(金)の3日間を予定している。
- ・会場は広島市内で二ヶ所候補を選定し、うち一ヶ所は仮予約済み。
- ・14日(土)午後に東広島市にて一般市民講演会を開催予定。
- ・対面開催に重きを置き、ハイブリッドにも柔軟に対応する。

3. 今後の秋季講演会の開催形態に関して(玄田 行事部会長)

- ・秋季講演会の口頭発表時間が年々短くなってきており、対策を講じるべきとの提案がなされた。
- ・対策案として、口頭発表のセレクションの導入、パラレルセッションの導入、開催日を増やすことが挙げられた。
- ・協議の結果、会員向けアンケート調査を行い、次回の運営委員会で方針を決定することとした。

4. 最優秀研究者賞受賞資格の緩和について(奥住 運営委員)

- ・民間就職や浪人期間の扱い方について再検討した最優秀研究者賞内規の変更案が提示された。
- ・研究を中断していた期間(出産、育児、介護等の理由により)がある学会員に対して最優秀研究者賞の資格条件を緩和することを内規に明記する。
- ・具体的には、年齢・学位取得後年数条件を「当該年度4/1に博士号取得から8年以内」に一本化したうえで、「博士号取得後に研究を中断していた期間(出産、育児、介護等の理由により)」の条件緩和を追加する。
- ・議決の結果、賛成多数で提案は承認された。

5. 第17期上期一般会計・特別会計予算案説明(佐伯 財務専門委員長)

- ・会費支払い済み会員数504名、未納会員数114名。
- ・今年も匿名の方から10万円の寄付金をいただいた。
- ・各委員会からの要望をもとに2023年度予算案を作成した。
- ・遊星人編集の原稿おこし代10万円は4年以上使用実績がなく当面使用予定もないので、編集委員会の同意を得たうえで、予算計上しないこととした。
- ・イーサイドの撤退に伴う対応として、業務委託費は個人委託費に移行。個別作業の事務委託費は不要となり、代わりにレンタルオフィス代・レンタルサーバー代が追加。
- ・補充契約として学会サーバーの維持更新費用が必要であり、30万円を計上した。契約の手続きは情報化専門委員会が引き取る。

・2023年度秋季講演会LOCから一般講演会用に13万円の支出要望があり、承認された。

6. 自然災害に伴う会費免除措置等について(佐伯 財務専門委員長)

・例年通り学会員にアナウンスする。

7. 日本学術会議「学術の中長期研究戦略」の公募への対応について(荒川 将来構想検討作業部会長)

・これまでのマスタープランから変更点はあるが、大型計画の推進という意味では変わらないので、昨年から行ってきた学会の選考過程を尊重して最終決定を行う。再公募は行わない。

・現在の提案3件はヒアリングを経て学会が推薦するに相応しい提案であることが確認されているため、3件全てを学会から推薦する提案とする。

・令和4年10月21日までに意向表明・情報提供が求められている。

・関連学会・機関との調整は各提案の代表者と学会執行部(会長・副会長)で行う。

8. 事務運営体制について(中本 事務局体制検討部会長)

・現在、2024年度以降の体制について検討している。

9. 入退会状況報告(保井 総務専門委員長)

・会員数に大きな変動はないことが報告された。

10. 第58回総会の議長・書記の推薦について(保井 総務専門委員長)

・議長に菊地 紘会員，書記に西谷 隆介会員が推薦され，承認された。

11. 第17期役員選挙について(保井 総務専門委員長)

・第17期役員選挙管理委員に保井 みなみ会員(委員長)，諸田 智克会員，奥住 聡会員，谷川 享行会員，小林 浩会員，北里 宏平会員，藤谷 渉会員，武藤 恭之会員，國友 正信会員が推薦され，承認された。

・選挙日程，被選挙人から除外する正会員について説明がなされた。

12. 2022年度最優秀発表者・優秀発表者選考結果について(寺田 2022年学会賞選考委員長)

・選考委員一名が9月20日の選考会に参加できなくなったため，代理として道上 達広会員の追加委嘱が提案され，承認された。

・今年度から最優秀発表賞に準じる賞として，優秀発表賞が設置された。

・選考委員会からの推薦に基づき，最優秀発表賞に桑原 歩会員，優秀発表賞に于 賢洋会員と庄崎 弘基会員を受賞者として決定した。

13. 学会賞検討作業部会について(田中 学会賞検討作業部会長)

・優秀発表賞の英語名称について学会賞検討作業部会で検討することとなった。

14. 遊星人の発行状況報告(三浦 編集専門委員長)

・例年通りつつがなく発行できている。

・写真付き著者紹介が今年度9月号から導入された。

15. その他

- ・保井委員より購読会員が準会員から会員に変更になったことに伴い、会則に変更を加える必要がある旨、提案がなされた
- ・提案は承認された。翌日の総会で説明を行い、承認を得ることとした。

以上

◇日本惑星科学会賛助会員名簿

2022年10月27日までに、賛助会員として本学会にご協力下さった団体は以下の通りです。社名等を掲載し、敬意と感謝の意を表します。(五十音順)

- ・Harris Geospatial 株式会社
- ・株式会社ナックイメージテクノロジー
- ・株式会社ノビテック